

猿新聞

『追い上げ』で棲み分けを！

編集・発行
山村 準
tel:0595-63-1725
Email
jyun.y@asint.jp

昔は、イノシシ、シカ、サルなどの棲息エリア奥山と、人間が住む村の間には里山と言う棲み分け緩衝帯が存在し、里山では人間が薪炭や建材等を採取し、奥山は野生動物が採食地として利用すると言う、共存関係が成立していました。これをふまえて、今、イノシシ、シカ、サルなどを、本来の住処、奥山へ戻す「追い上げ」が重要な対策になっています。

「追い上げ」とは、群れを農地、住宅地から隔たつた目標の地域へ積極的に追い立て、誘導するための方法です。

「(特) 森林研究所」によると、目標地までの距離によって、「長距離の追い上げ」と「短距離の追い上げ」に分類しています。

「長距離の追い上げ」は農地、住宅地からかなり隔たった場所へ、群れの行動域を移動させ、定着させることを目的としています。

「短距離の追い上げ」では、農地、住宅地周辺の森林中に一定の幅の侵入防止(緩衝帯)ゾーンを設定し、そこまでサル追い込む方法。

「長距離の追い上げ」は生息地整備など長期的な対策になるので、当面の

被害を防ぐため現在実施している対策と併用して行く必要があります。現在のところ成功例がないようですが、成功すれば抜本的な被害対策の一つになると考えられます。群れが目標の地域に定着するには、年単位の時間を要するかも分かりませんが、現状対策を維持しながら棲み分け、即ち、「長距離の追い上げ」を考える必要があります。

被害を防ぐため現在実施している対策と併用して行く必要があります。現在のところ成功例がないようですが、成功すれば抜本的な被害対策の一つになると考えられます。群れが目標の地域に定着するには、年単位の時間を要するかも分かりませんが、現状対策を維持しながら棲み分け、即ち、「長距離の追い上げ」を考える必要があります。

天敵的役割

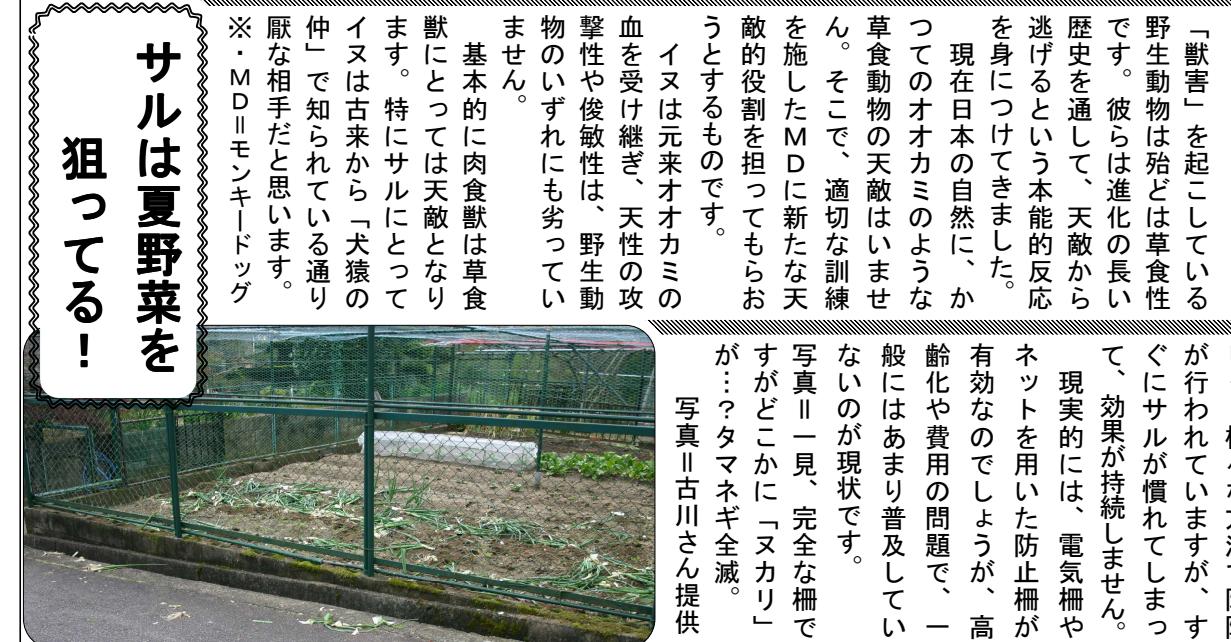
サルを目的地に「追い上げ」誘導するにはMDは欠かせません。

猿一口 MEMO

★群れの大きさが50頭を超えると、群れの中に小グループができそのグループがばらばらに動き、人間が群れ全体の移動を察知することが難しくなる場合があるそうです。

★集落内で子連れの群れが出没したり、道路脇で餌を食べているような光景を見かける場合には、集団が自分のテリトリー(縄張りとして意識している)としたことになるので、追い払いに力を入れることが重要です。

「人間に近寄るのは怖い。」ということを学習させることが重要です。



MD俱楽部研修会

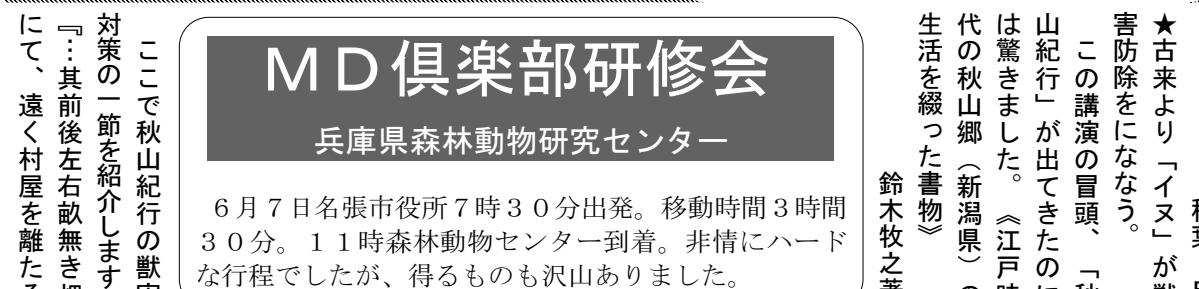
兵庫県森林動物研究センター

6月7日名張市役所7時30分出発。移動時間3時間30分。11時森林動物センター到着。非情にハードな行程でしたが、得るものも沢山ありました。

★古来より「イヌ」が獣害防除をにななう。この講演の冒頭、「秋代の秋山郷(新潟県)の生活を綴った書物」鈴木牧之著

6月移動状況 (5・25~6・25)

6月は宇陀川を越えて南側の矢川、赤目地区に来る頻度は少なくなっています。三本松、安部田、井出を頻繁に往復している状況です。収穫したタマネギやタケノコに被害が出ています。

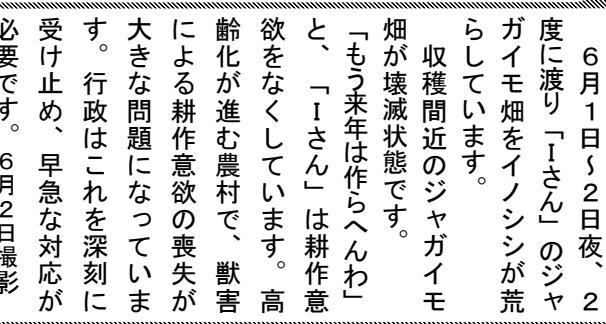


江戸時代から1970年放し飼が禁止されるまで、イヌが獣害防除の一端を担っていました。近年、獣害対策にイヌの必要性が見直されMDが誕生しました。長野県大町市をかわきりに、全国的に普及し活躍しています。その効果も、MDの居る地域に限定されますが、今後、頭数の拡充や訓練方法などで解消される事と思います。

兵庫県では、ほ場等に隣接した森林の裾野を帯状に抜き切りし、人と野生動物との棲み分けゾーンを設けるとともに、森林の奥地に野生動物の餌となる、広葉樹林を整備する野生動物育成林事業を進めています。また、兵庫県では、サル、シカ、イノシシなどを取り組み方については、名張市と大差が無いよう発しているそうです。

農林業被害に対しての基本姿勢また、対策などを指している野生動物との棲み分けを既に事業として実践していることには大きな差のようなもの感じざるを得ませんでした。

サルは夏野菜を狙つてる！



兵庫県森林動物研究センターには、兵庫県立大学自然・環境科学研究所の教員である研究員と、野生物の専門技術者である森林動物専門員が配属されており、被害防除のための地域支援活動や野生物出没対応など総合的な活動に取り組んでおり、私たちが今、目指している野生動物との棲み分けを既に事業として実践していることには大きな差のようなもの感じざるを得ませんでした。

「長距離の追い上げ」は1万倍とも言われ、サルの臭いを忠実にたどつてどこに隠れても必ずどこでMDの登場です。そこでMDの登場です。イヌの優れた嗅覚は人の手に身を潜めるようになります。人があきらめて立ち去ると、人里へ再び平気で出でてきます。追い上げは失敗です。

「長距離の追い上げ」は生息地整備など長期的な対策になるので、当面の